

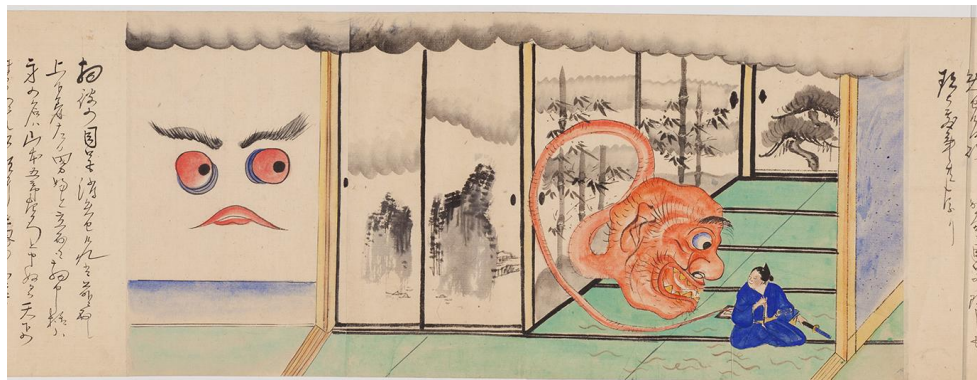
【主な展示資料】



百鬼夜行絵巻(ひゃっきやぎょうえまき) 江戸時代 斎宮歴史博物館蔵

夜中に、京の大路を群行する異形の者たちの様子を描いた絵巻。

鬼、破れ傘、釜、鍋、五徳、琵琶、琴、鰐口などが擬人化されて描かれています。



百物語絵巻 地 (ひやくものがたりえまき ち) 明治時代

湯本豪一記念日本妖怪博物館 (三次もののけミュージアム) 蔵

備後三次 (びんごみよし) の稲生平太郎 (いのおへいたろう) が、一か月にわたって体験した数々の怪異を描いた絵巻で、一般的には「稲生物怪録絵巻 (いのおもののけろくえまき)」などと呼ばれています。



陰陽師と式神・外道 (復元模型)

『不動利益縁起』(ふどうりえきえんぎ) (重要文化財・東京国立博物館蔵) の安倍晴明 (あべのはるあきら) が泰山府君祭を執り行っている場面を立体化した復元模型です。